

りか 通信

大内りか 活動報告 No.2

RIKA OUCHI ACTIVITY REPORT

〈大内りか事務所〉

〒990-2161 山形市漆山3423-1 102号
TEL : 023-665-5258 FAX : 023-665-5259



山形県の課題解決のために全力で働きます。

山形県の最大の課題は、人口減少と多発する災害から県民の命と暮らしを守ることです。

人口減少に歯止めをかけるためには、東京一極集中から地方分散が必要です。災害から命と暮らしを守るためには、更なる国土強靱化が必要です。

残念ながら、いずれも地方の努力だけで根本的に解決することはできません。地方に「光」が当たる国の政策が必要であり、地方に住んで良かったと思える日本を創っていかねばなりません。

県内を回ってみると、災害に見舞われ途方に暮れる被災者の皆さん、高温障害で苦しんでいる農家の皆さん、売り上げが上がらないのに賃上げでご苦労されている中小企業の皆さん、経済的に余裕が無くて将来への不安を抱える若者たちなど、多くの県民の皆様のお声をお聞きしています。

一方で、山形県の伝統文化の素晴らしさに改めて驚かされています。そして、それらの文化を長い時を経て守り続けている県民はもっと素晴らしいと感じています。

「ここに住むすべての県民の暮らしを守りたい。」そのために地方の声を国の政策に反映させ、皆様のお声を叶えていきます。

大内理加

RIKA OUCHI プロフィール PROFILE

昭和38年3月22日 山形市生まれ
山形県立山形西高等学校卒業(陸上部)
同志社大学文学部卒業
(株)山形テレビ制作部
山形県議会議員(4期)
趣味：料理 山菜採り 神輿渡御

自由民主党特別参与
自由民主党山形県連会長補佐
山形県紅花生産組合連合会会長
山形県日韓親善協会会長
山形県日中友好協会女性委員会会長
円仁の鐘を鳴らす会会長
山形市パークゴルフ協会会長



地方の
くらしを
守り抜く。



RIKA OUCHI

大内理加

豪雨災害の現場から（令和6年7月・9月）

7月30日・8月4日 最上視察



戸沢村蔵岡地区は排水機に加え輪中堤が完成したにもかかわらず、最上川の越水により、これまでにない被害となりました。「ここに住み続けることができるのか」被災者の皆様に寄り添った丁寧な議論が求められます。また、鮭川村のきのご産業など、民間企業を守る支援も大きな課題です。



7月30日・8月9日・9月3日 庄内視察



言葉を失うような惨状でした。酒田市大沢地区では、集落が土砂で埋まり、松山ではカントリーエレベーターや排水機が大きな被害を受けました。遊佐町では多くの家屋や鮭の孵化場が浸水しました。「道路を早く復旧してほしい。」被災地からの切実な声。道路は命を救う道であり、物資を届ける道です。



8月4日 最上視察



8月6日

政府への要望活動

吉村知事からの要望を受けた翌々日、自民党県連は早速政府へ要望活動を行いました。防災担当大臣、総務大臣、財務大臣、国交大臣、農林副大臣、そして岸田総理(当時)に直接現場の状況を伝え、激甚災害への指定を要望しました。



9月23日 村山市・東根市視察



原因は分析されています。大旦川や新川など最上川の支流による内水氾濫です。その影響は村山市にとどまらず、毎回東根市の田畑や牛舎にも大きな被害が出ています。調整池の拡大や早急な分水路の事業化の必要性を実感しました。

